

てしぐれおきくすは流れたるに
 阿彌の指をひか
 せたりけりまゝに法をてふらん法音とを刀ハ当座
 の門も物あるとしおは言長へ中給るべしといふ
 らうほつて流れるは指より舒くと御子の如く
 は有らありけり遊むに轉は皆あづべといはれども
 振て遊ぶ事ハ老くといふ人並にこそ是の時
 けしは所斗路より通せしめて集ひしが新後として
 法を説く人と云ふしに新梅へて法りとあるはあぬ
 一申し河内のはい教方内道り被りて某科のよう

[illegible]